

安全工学シンポジウム 2015

山本 浩 環境・建設技術分野

相田 久夫 総合安全・情報管理技術分野

1. はじめに

「安全工学シンポジウム」は日本学術会議が主催する安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、年 1 回開催されている。

2015 年度は土木学会が幹事であり、関連分野に関する幅広い知識の習得や情報収集を行うことを目的にこのシンポジウムに参加した。

2. 概要

期日：平成 27 年 7 月 2 日（木）～3 日（金）

場所：日本学術会議（東京都港区六本木）

主催：日本学術会議総合工学委員会

共催：土木学会他 32 学協会

テーマ：安心・安全な社会サイクルの構築

特別講演

7 月 2 日（木）12：50～14：00

廣瀬 典昭 氏（土木学会 2015 年度会長）

7 月 3 日（金）13：00～14：00

佐藤 浩之助 氏（九州大学 核融合科学研究所 名誉教授）

パネルディスカッション

- ・安心・安全な社会サイクルを構築するためには
- ・工学システムに対する社会の安全目標

オーガナイズドセッション

- ・災害に対する強靱な社会づくりとそれを支える安全教育 ほかに 11 件

一般セッション

- ・せん断ひずみのクリープ的增加に着目した崩壊危険の簡易判別 ほかに 47 題

3. 内容

本シンポジウムは 2 件の特別講演、2 件のパネ

ルディスカッション、12 件のオーガナイズドセッション、48 題の一般セッションで行われた。

廣瀬氏の特別講演「火山防災への取組みと安全～フィリピン ピナツボ火山災害対策を例に～」は自然災害であるピナツボ火山災害の復旧・復興における状況の変化や予測の困難さの中での技術判断事例や技術者の役割を紹介しており、最近全国の火山活動が活発なこともあり、タイムリーな話題で興味深かった。

佐藤氏の特別講演「日本のエネルギーの将来と安全」では、日本のエネルギー問題に大きな課題を投げかけた東日本大震災による原子力発電所の事故からはじまり、原子力発電並びに放射線の基礎をわかりやすく解説されていた。それと共に今後のエネルギー問題についての予測、特に核融合プラズマの可能性を含めた長期的将来像について展望した講演であった。

そのほか、土木学会関係のセッションを中心に参加したが、工事現場における事故防止のための安全技術の進歩、災害に対する社会づくりの取り組みなどがよくわかった。

3. おわりに

土木学会が幹事ということで初めて参加したが、あらゆる分野から安全工学に関する発表があり非常に興味深かった。時間などの関係で聴講できないセッションが多数あったので機会があったらまた参加したい。今回得られた知見を今後の業務に生かしていきたい。